

三重県の幹線道路整備
(国道1号北勢バイパス)

永田 正巳 議員
(自民・無所属議員団/四日市市選出)

問

国道1号北勢バイパスは、川越町南福岡から四日市市采女町までが事業化されていますが、まだ全線開通しておりません。この道路の全線開通は、四日市内の慢性的な渋滞の唯一の解決策だと考えますが、現時点での進捗状況を伺います。

また、現在の工事は北から南へ進められておりますが、並行して南端から北へも工事着手し、進捗を早めてはいかがでしょうか。



答

川越町からみえ朝日ICまでは供用開始され、上海老茂福線まで、整備が進められています。

またその先の、市道垂坂1号線までは、平成20年代初頭に供用が開始される見込みです。

道路はつながってこそ価値があります。現在は、北から工事を進めており、今後も国や市などと協議をしながら進めます。

○温暖化ガス削減対策 ほか

中小企業の魅力発信と
人材確保

稲垣 昭義 議員
(新政みえ/四日市市選出)

問

北勢地域の産業を下支えしている中小企業において、技術継承のための人材確保の仕組みづくりが求められています。

新年度予算案で検討している、学生に県内の中小企業の魅力を感じてもらうための施策の、具体的な中身をお示しください。

また、中小企業の人材確保には、継続した取り組みと、県外大都市圏の学生へのアプローチが重要ではないでしょうか。

答

学生による企業での体験学習と、学生の目線から見た「ものづくり企業」の情報発信の仕組みづくりとして、①中小企業経営者による体験道場の開催
②首都圏で学生による体験報告会や情報発信
③企業体験の映像化やPR冊子の作成、などに継続的に取り組み、経営の核となる人材確保につなげたいと考えます。



社長自らによる企業概要説明

○基金と補助金 ほか

伊賀地域の「水」に関する
諸課題

岩田 隆嘉 議員
(自民・無所属議員団/伊賀市選出)

問

川上ダムは、国土交通省近畿地方整備局が設置している淀川水系流域委員会において、治水・利水の必要性について議論がされています。川上ダムの必要性と、本体工事の促進に向けた知事の決意をお聞かせください。

また、伊賀水道用水供給事業は、平成21年4月の市水道事業への一元化を目指していますが、技術面や財政面の支援について、市との協議の状況を伺います。



答

川上ダムは、浸水被害を軽減し、水道水源として必要なダムであり、早急な本体工事の着手を、強く申し入れていきます。

水道事業の一元化は、市と県の連絡調整会議を設置し、資産の譲渡による市水道料金への影響がないよう、その条件等を協議するほか、研修のための市職員の受け入れ等を提案しています。

○「美し国おこし三重」 ほか

子どもが主役の
未来づくり事業

杉本 熊野 議員
(新政みえ/津市選出)

問

来年度新規事業として提案された「子どもが主役の未来づくり事業」は、子どもの権利条約がうたう、生きる権利、育つ権利などを守るため、当事者である子どもと多くの大人が参加し、真剣に考え合う必要があると考えます。

この条約を出発点とし、宣言や条例、そして総合的な子ども施策へとつながるものとしてほしいと考えますが、どう展開していくのかお聞かせください。

答

この事業は、多くの子どもへの参画により、子どもも未来への願いや思いを大人とともに集約しようとするものであり、そのプロセスで集約された子どもへの思いや提案は、子育てを支援する地域づくりの施策展開につなげたいと考えます。

今後、条例などを検討する際には、子どもの権利を含め、子どもを大切にすることを盛り込みたいと考えます。



○男女共同参画と三重県政 ほか